

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

指標名	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
雇用創出数	67人増加	250人増加	19人	27人	15人	11人	29%

施策① 地域企業の生産性革命の実現

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
IT企業等の誘致及び企業創業	7件	50社	5件	9件	10件	9件	66%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
農作業の省力化、人材確保、負担軽減をはかるためにスマート農業を検討する。	創業件数	0件	0件	0件	1件	令和5年度に一般社団法人RCFが運営する人吉・球磨農業未来プロジェクトでの株式会社タイミーとの農家人材確保に向けた支援を開始し、モデル農家として人吉市の農家が選定され、人材確保を図った。	農業振興課
果敢に挑戦する人材をサポートし、ビジネスを創出する環境を整え、地域の特色・強みを活かした「しごと」の創出を促進した。 ・創業相談件数・・・27件(セミナー受講者等も含む) ・Hit-Bizへの創業相談件数・・・47件。	創業件数	3件	9件	8件	7件	令和2年7月豪雨で被災された創業者もいる。水害、コロナ禍で厳しい環境にあるため、今後も支援の強化を図りたい。	商工観光課
雇用の場を早急に確保する施策としてIT企業をはじめとした様々な企業等への誘致活動を行った。	企業誘致件数	2件	0件	2件	2件	地場企業との接点機会を図ることで、地域のDX化の機会を創出する。求職ニーズが高い事務職の周知を図る。	商工観光課
企業の誘致及び立地を促進するため、市内に工場等を新設又は増設する者に対し、奨励措置及び便宜の供与を行った。	雇用創出数	12人	6人	3人	4人	採用自体は企業の採用計画に沿ってなされているので、雇用奨励金等の活用もされている。今後も企業・求職者にしっかり伝わるように、周知を努める。	商工観光課
球磨中央地区林業活性化協議会にて、森林クラウド操作研修会を開催した。アジア航測により実施され、自治体職員、林業事業者が参加し、航空レーザーデータを搭載した森林クラウドの活用をした。	雇用創出数	4人	12人	4人	4人	職員及び作業員の採用があるが更なる求人周知を図る。	農林整備課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

施策② 農林水産業の成長産業化

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
認定農業者総数	71人	75人	69人	72人	65人	66人	88%
森林SCM協力協定締結団体数	4団体	10団体	4団体	4団体	4団体	4団体	40%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
担い手への農地の集積・集約化、農地利用の効率化及び高度化、耕作放棄地の発生と解消、農業への新規参入を推進した。	認定農業者総数	69人	72人	65人	66人	令和5年度に新たに1人の認定農業者を認定した。	農業振興課
農業者が、生産だけではなく、製造・加工や販売などにも取り組み、生産物の価値を更に高めるため、6次産業化に関するセミナーを開催していく。	参加人数	0人	50人	0人	0人	令和5年度もセミナー等、開催できなかったが、新型コロナが5類移行になったこともあり、再開を検討中。	商工観光課
錦町、山江村、あさぎり町や熊本県、鹿児島大学、素材生産業、製材所など12の会員からなる球磨中央地区林業活性化協議会をH30年2月22日に設立し、儲かる林業(スマート林業)を広域展開した。	森林SCM協力協定締結団体数	4団体	0団体	0団体	0団体	新規の締結に向け検討中。団体締結なし。	農林整備課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

施策③ 「海外から稼ぐ」地域の実現

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
アジア各国からの観光等宿泊客数	319人/年	400人/年	32人/年	133人/年	253人/年	13420人/年	3355%

※アジア各国: フィリピン、タイ、インドネシア、マレーシア、シンガポール、インド、中国、台湾、香港、韓国、その他

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
商品開発・販路開拓等の相談があった事業所等へくまもと県南フードバレー推進協議会を紹介し、入会及び支援事業についての勧奨を実施した。	勧奨数	0件	2件	5件	3件	3件の事業者入会があった。また、1件の販路拡大等の会員活動支援事業を利用する予定であったが、事業が困難になり中止となった。	農業振興課
新型コロナ禍により、来訪を増加させる取り組みができないなか、アフターコロナへ向けたPRの一つとして、人吉花火大会の動画配信を行い、人吉の魅力を発信した。	アジア各国からの観光等宿泊客数	32人/年	133人/年	253人/年	13,420人/年	渡航制限も緩和されており、インバウンド需要の見込める台湾等を中心としたアジア各国に引き続き情報発信を継続する。韓国でのゴルフブームが追い風となり、韓国からのゴルフ目的の来客が急増している。	商工観光課
人吉地域におけるビジネスモデルについて検討し、広い分野において収入につながる取組・行程等を検討した。	素材生産量	564.937m ³	2,573.487m ³	1,537.229m ³	2,344,141m ³	人吉市及び藍田財産区にて、主伐及び間伐を行った。	農林整備課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

施策④ 地域の魅力のブランド化の推進

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
宿泊者一人1日当たりの観光消費額	15,554円/人	4年間で2,996円/人の増加	-	17711円/人増加	29,211円/人増加	26,209円/人増加	875%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
肥薩線利用促進・魅力発信協議会にて、県境を越えた沿線自治体が連携し、利用促進及び魅力発信を行った。	魅力発信掲載数	0	7	1	2	協議会HP・Facebookへの掲載は2件にとどまったが、沿線自治体それぞれで魅力発信につながる取組を実施。 JR肥薩線(八代～人吉間)における鉄道復旧の方向性について基本合意がなされたこともあり、事務局だけではなく情報発信が必要。	交通政策課
広報誌や市ホームページやSNSなどを活用し、地域の魅力を発信した。	フォロワー数	6,221人	7,063人	8,094人	9,003人	インスタグラムについては商工観光課職員も投稿者に追加することで投稿頻度が増え、市アカウントからのフォローも開始したことで、フォロワー増につながった。	秘書課
農商工連携による地元農産物(きくらげ、栗、米など)のブランド化を推進する。	地域ブランド数	0件	0件	1件	1件	くまろんフェアイベントにより球磨栗を使ったスイーツ等の商品を各店舗で販売・提供し、人吉・球磨の栗を多くの人に味わい、知ってもらった。	農業振興課
「人吉しごとサポートセンター(通称:Hit-Biz)」にて地域資源を活用した新商品、新サービスの開発、マーケティングやブランディング、販路開拓等への支援を行った。	新商品開発数	13件	12件	4件	3件	令和2年7月豪雨により被災した事業者も多い中、復旧復興の支援をするとともに、新商品開発支援にも力を入れてきた。今後も引き続き強みを活かした販路開拓等の支援を行っていきたい。	商工観光課
傘ブランド「人吉・球磨 風水・祈りの浄化町」の認知度を高めるとともに、地域住民が傘ブランドのファンとなって観光地域づくりの機運が高まるよう、インナーブランディング事業として各市町村の広報紙に記事を掲載した他、傘ブランドの商品開発に補助を行うことにより、ブランドの認知度向上を図った。	地域住民の傘ブランド認知度	44%	21%	44%	57%	市広報誌や各種SNSへの掲載等、認知度向上のための情報提供を積極的に実施し、集客イベントも実施した。高校生をはじめ若年層に親しみやすい取り組みの推進により、傘ブランドのさらなる浸透を図る必要がある。	商工観光課
歴史的魅力にあふれた日本遺産人吉球磨の文化財群を活用し、国内外に戦略的に情報発信することで、交流人口の拡大により地域活性化を図った。	ウェブサイトの年間PV閲覧数(閲覧数)	7,900	8,773	8,704	12,417	HP公開による日本遺産人吉球磨の文化財の情報は、国内外からの興味関心を高めるうえで一定度の効果があった。	文化課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

施策⑤ 新たなビジネスモデルを生み出す創業の活性化と円滑な事業承継

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
人吉しごとサポートセンター相談件数	700件/年	800件/年	668件/年	607件/年	625件/年	534件/年	67%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
地域の創業を促進するため、専門家による支援など地域における創業支援体制及び創業に関する普及啓発体制の整備を推進する。	人吉しごとサポートセンター相談件数	668件/年	607件/年	625件/年	534件/年	個別の相談件数は減少しているが、起業支援や販促等のWSセミナーの回数が増えており、その参加者も増えている。Hit-bizのSNS発信の頻度も増加しており、支援体制や情報周知の充実度は上がっていると考えられる。	商工観光課
地域経済の活性化や社会的交流の促進するために地域デジタル通貨を導入した。	利用者数	0件	5,060件	8,138件 (+3078件)	8,151件 (+13件)	令和5年度はプレミアムポイント事業等を実施できなかったことから、利用者が増加せず、利用額も伸びなかった(利用促進)。課題を踏まえ、ユーザーに「普段使い」してもらえるような仕組みづくりが必要。	商工観光課
令和2年7月豪雨災害からの「気づき」を基に、人吉被災地域防災講話プログラムを造成、販売を開始した。	新商品開発数	1件	5件	0件	0件	新商品の開発には至っていないが、令和4年度に造成した人吉防災講話プログラムを引き続き周知・販売している。	商工観光課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

施策⑥ 専門人材の確保・育成

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
専門家等の登用者数	1人/5か年	3人/4か年	0人/1か年	1人/1か年	1人/1か年	1人/1か年	100%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
令和2年7月豪雨災害を受け、防災業務を専門に担う「地域防災官」の役職を設け、元人吉下球磨消防組合消防長を任命した。	登用数	/	1人	1人	1人	令和3年5月より地域防災官を任用し、避難行動や自主防災組織の再構築に向けた研修・出前講座が実施できた。課題として、自主防災組織ごとに災害に対する温度差があることから、組織強化に継続して取り組んでいく。	防災課
認定農業者連絡協議会が会員を対象に研修を実施する。	参加者数	0人	0人	0人	21人	令和6年2月に認定農業者を対象とした研修会(有害鳥獣対策)が実施され、21人の参加があった。	農業振興課
地域連携DMO登録に向けて業務を推進するにあたり、各種のデータ収集・分析などのマーケティングの実施を組織として継続的に行う上でふさわしいと判断される者(CMO)を確保する。	登用数	0人	0人	1人	1人	DMO従事経験があり、十分なノウハウがある者をCMOとして任命し、広域連携による業務を推進した。令和5年3月に観光庁の地域連携DMOとして登録された。	商工観光課
森林づくりを支える人材を育成・確保するため、伐採作業や森林施業等の高度な技術・知識の習得を支援することを目的として人材育成研修を開催する。	参加者数	0人	0人	0人	0人	新型コロナウイルス感染症対策により開催できなかった流れが続いていたが、5類移行したこともあり、今後は開催を検討する。	農林整備課
スマートシティの推進にあたり、職員の意識変革や、デジタルに関する理解を深めるための講習ができる人材を確保する。	登用数	0人	0人	0人	1人	総務省の地域情報化アドバイザー派遣制度を活用し、講演を依頼した。また、「人吉市スマートシティ/DX事例・アイデアコンテスト」を開催し、市役所・民間企業問わず、市内全域での意識情勢を図る取組ができた。	情報政策課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

施策⑦ 働きやすい魅力的な就業環境と多様な働き方の実現

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
人吉市まち・ひと・しごと総合交流館「くまりば」サテライトオフィス・コワーキングスペース等月間利用件数	—	15件(累計)	21件	24件	18件	13件	507%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
女性が農業で活躍できる環境を作れるようにするために農林水産省が行っている「農業女子プロジェクト」の活用を検討する。	女性従事者数	0人	0人	0人	0人	県内での取組事例を参考に引き続き情報収集を行い、女性従事者の増加につなげていく。	農業振興課
コロナ禍で多様な働き方が求められている中、テレワークやオンライン会議を実施できる環境を整備し、新しい働き方ができる場所を提供する。	「くまりば」サテライトオフィス・コワーキングスペース等月間利用件数	21件	24件	18件	13件	サテライトオフィス・コワーキングスペース等月間利用件数はやや減少したもの、会議室の利用者数は伸びており、引き続き新しい働き方ができる場所を提供する。	商工観光課
審議会等に女性の参加を促進し、幅広い意見を事業に反映していく。	女性登用率	21.27%	20.54%	20.40%	20.82%	役員として役職についてもらうことで、さまざまな視点からの意見を反映することができた。	地域コミュニティ課
女性の林業従事者が快適に働けるような環境が作れるよう検討していく。	女性従事者数	1人	0人	0人	0人	新規従事者数0人。	農林整備課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標2 つながり築き、本市への新しいひとの流れをつくる

指標名	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
転入者数	92人増加 (H27～H30の累計)	500人増加 (基準値:R元年1,391人)	-164人増加 (1,227人)	-153人増加 (1,238人)	39人増加 (1,430人)	-116人増加 (1,275人)	-179% (-394人増加)
転出者数	120人減少 (H27～H30の累計)	500人減少 (基準値:R元年1,529人)	-66人減少 (1,595人)	200人減少 (1,329人)	98人減少 (1,431人)	77人減少 (1,452人)	162% (309人減少)

施策① 地方移住の推進

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
移住希望者からの相談件数	11件	20件	6件	8件	57件	49件	245%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
「みんなで美しい人吉づくり」プロジェクトを取り組み市民が誇りに思う美しいまちや河川美化を推進した。	環境美化行動の総参加率	4.80%	17.90%	23.44%	24.70%	6月と8月に実施一斉清掃を実施しており、年々参加率が上がっている。荒天により中止となる場合もあるが、各町内や関係団体などの自主的な清掃活動も見られ、市民の美化行動に対する意識が定着しつつあることが伺える。	環境課
空き家バンク活用により、まちなかの居住者増加に努め、コミュニティの活性化を図る。相談の基礎データとなる空家データベースを更新した。	移住希望者からの相談件数	6件	8件	57件	49件	令和4年度から、空き家対策関連事業の管轄を商工観光課へ拡充したことにより、情報周知の効果が上がり、問合せが増加した。	地域コミュニティ課 商工観光課
妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を一体的に提供する子育て世代包括支援センターの機能充実を図り、安心して子どもを産み育てる環境づくりのため情報提供などを行った。	相談支援数	10件	10件	19件	12件	転入手続きの際、子育て世代包括支援センターについての情報提供を行い、利用促進を図った。また、必要に応じ関係機関と情報連携した。	保健センター
人吉市都市計画マスタープランを策定し、安心して暮らすための道路、公園、河川、上下水道など都市施設の適正で効率的な整備と、自然、歴史、文化が調和した都市づくりの方針を定め、市民が誇りと愛着を持てるような、魅力的なまちを目指します。	人吉市都市計画マスタープランの策定	策定中	策定中	策定中	策定済み	令和6年3月に人吉市都市計画マスタープランを改訂し人吉市立地適正化計画を策定して、市のHPで公表した。	都市計画課
児童の基礎学力の定着・向上、学習意欲の高揚を図るため、放課後パワーアップ教室(週1回、放課後の1時間を活用して学習支援)を行った	参加者数	192人	190人	事業休止	事業休止	市内小学3年生以上の児童生徒一人一台端末の整備、それに伴う学習支援ソフトの導入により、家庭でも学習用端末を有効に活用し、児童の基礎学力の定着、学習意欲の向上等を図っている。	学校教育課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標2 つながり築き、本市への新しいひとの流れをつくる

施策② 若者の地元修学・就業の促進

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
人吉球磨新規学卒者の管内就職率	8.60%	15%	6.29%	7.81%	7.70%	8.14%	54%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
高校生の地元での就労を促進するために、高校生と地元企業をつなぐ説明会を開催する。	参加者数	0人	0人	0人	74人	コロナ禍の影響により4年ぶりの開催だったが、学校の協力もあり多くの生徒に参加いただいた。	商工観光課
子ども達が林業を憧れの職業とすることができるように市内の小中学校を対象に林業教室を開催する。	参加人数	0人	0人	204人	201人	市内小学校5小学校で林業教室を開催した。	農林整備課
有用な人材を育成することを目的に人吉市奨学金給付を行った。 ・令和3年度 給付型奨学金の運用開始	奨学金件数	0件	8件	7件	5件	向上心があり、能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な生徒の学びを支えることができた。	学校教育課
将来を担う子どもたちに、市政に関心をもってもらい、自分の夢や希望を織り交ぜながら発表する機会を提供すると共に、子どもの視点からの意見を今後の市政運営に反映させることを目的に子ども議会を開催した。	子ども議会開催数	0回	1回	1回	1回	代表生徒16人が参加し、人吉市の課題について質問した。自分たちの住むまちをより良くしたいという思いが伝わってきました。	学校教育課
地域と学校が連携し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、また、ふるさとの豊かな自然を活かした野外活動等を通して、郷土愛を育むために下記事業を実施した。 ・草木山川学校の実施:夏版(参加者26人)、春版(参加者18人)	参加人数	19人	44人	事業休止	事業休止	例年実施している「草木山川学校事業」については、行財政健全化計画及び事務事業見直しに伴い(復旧事業に尽力するため)、令和4年度・5年度の事業を休止としている。令和6年度は再開を予定している。	社会教育課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標2 つながり築き、本市への新しいひとの流れをつくる

施策③ 「関係人口」の創出・拡大

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
人吉市まち・ひと・しごと総合交流館「くまりば」ビジネスキャンプ等宿泊人数	—	540人(累計)	0人	28人	402人	321人	139%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
人吉高校生と「ぎゃんとこ人吉ch」を開設し、「人吉の観光振興」と「これからの災害ボランティア」をテーマにYouTubeによる情報発信を行いました。	チャンネル登録者数		1,049人	1,126人(+80人)	1,160人(+34人)	令和4年度途中から高校独自のチャンネルとして運用。学校ホームページのトップにもリンクを貼るなどPRにも力を入れてもらっており、定期的に4本の動画を投稿いただいたが、登録者数は微増であった。	秘書課
豊かな自然、歴史、文化など本市の多様な資源を活用しながら、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動であるグリーンツーリズムを、本市において定着・発展させるために必要な会員相互の交流や研修会の実施	市内農家民宿の宿泊者数	0件	0件	0件	1件	人吉市グリーンツーリズム推進協議会の活動において、食の熱中小学校の昼食と交流を行った。	農業振興課
人吉での暮らしや住まいなど、わかりやすい情報サイト「人よしライフ」を充実し、暮らしの魅力を全国に発信する。	サイト閲覧者数	14,410	10,796	12,666	12,509	ポータルサイトでは、空き家バンク情報の閲覧が最も多い。閲覧者が求めるバンク情報、支援制度の周知等の充実が課題である。	商工観光課
ホームページで簡易宿泊施設や、コワーキングスペース等のくまりばの紹介などを行う。また、ひとよしくま熱中小学校開校に伴う関係人口を創出する。	人吉市まち・ひと・しごと総合交流館「くまりば」ビジネスキャンプ等宿泊人数	0人	28人	402人	321人	コロナ禍が解除になったことから、働き方の選択肢も増え、延べ実績は減少したが、熱中小学校は新規参加者の増加や継続率も高く、市内市外含めて321人の参加があった。	商工観光課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標2 つながり築き、本市への新しいひとの流れをつくる

施策④ 本市への資金の流れの創出・拡大

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
古都人吉応援団年間寄付金額	2.6億円	5億円	12億円	5.5億円	3.9億円	4.1億円	82%
企業版ふるさと納税を活用した寄附件数	—	4者/4か年	8者/1か年	10者/1か年	10者/1か年	12者/1か年	1000%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
人口減少社会が進展する中で、少子高齢化等の課題に対応できるよう事務事業の見直しを行い、行財政の健全化に最大限取り組むために人吉市行財政健全化計画を推進した。	当初予算削減額	△54,573千円	△60,056千円	△48,333千円	△28,175千円	人吉市行財政健全化計画に基づき、任意補助金や事務的経費の原則一律10%削減や、既存事業の縮小・廃止に取り組み、事務事業費を縮減した。	財政課
公共施設の最適配置を行い、施設保有量の見直し、適正化を進めるとともに、未利用財産については、売却による処分や貸付による有効活用を推進していくために公共施設等適正管理を実施中。	公共施設管理数	2	0	2	0	施設データの一元管理を進めながら、適正化に取り組んでいく必要がある。公共施設の再編について、まちづくりの視点を持ち、推進していくため、令和6年度から庁内横断的なワーキンググループを立ち上げる予定。	行財政改革課
古都人吉応援団年間寄付金額の積極的な周知を行いふるさと納税を推進した。	古都人吉応援団年間寄付金額	12億円	5.5億円	3.9億円	4.1億円	令和2年度、令和2年7月豪雨被災に対する支援目的の寄附件数・額が大幅に伸びたが、その後寄附額が減少傾向にあった。令和4年10月にポータルサイトを2つ追加。令和5年度にはふるさとチョイス連携ポータルサイトが4つ増えたことで、令和5年度の寄附額は微増で着地した。今後はこれまで以上に市の魅力や商品、水害からの復興を発信する努力が必要である。	商工観光課
積極的な周知を行い企業版ふるさと納税を活用した寄附を推進した。 寄附合計額:3,900千円 企業版ふるさと納税ポータルサイトへ登録申請した。	企業版ふるさと納税を活用した寄附件数	8件	10件	10件	14件 2件は同一業社	企業版ふるさと納税対象の事業を明確化し、本市の取り組みをPRすることで、企業版の寄附を募りやすくする必要がある。	商工観光課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

指標名	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
合計特殊出生率	1.94	2.07	1.84	1.70	1.55	1.85	89%

施策① 結婚・出産・子育ての支援

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
子育てに不安や負担を感じない	36.3%	40%	-	-	-	36.2%	90.5%
子育て環境や支援への満足度	21.7%	30%	-	-	-	12.5%	41.7%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
子どもの健康増進、子育て世帯の経済的負担軽減などを目的に0歳から中学校卒業までの医療費無料化を行った。	実績額	97,248,673円	101,667,073円	107,495,697円	142,783,209円	子育て世帯の経済的負担軽減と疾病の早期治療に寄与した。	こども未来課
関係機関との連携を図り、妊娠期から切れ目のない支援とその充実を図るため、一般不妊治療事業、産後ケア事業についての助成を行った。 また、妊娠届出や出生届出を行った妊婦・子育て世帯に対し、出産育児関連用品の購入費助成等を図る出産・子育て応援給付金の支給および様々なニーズに即した伴走型相談支援の充実を図った。	実績額	一般不妊治療 162,960円 産後ケア事業 0円	一般不妊治療 363,514円 産後ケア事業 21,818円	一般不妊治療 277,500円 産後ケア事業 136,000円	一般不妊治療 132,450円 産後ケア事業 184,000円 出産・子育て 応援交付金 15,700,000円	一般不妊治療事業、産後ケア事業 についての助成を行い、不妊に悩む方や産後の子育てに対する不安の軽減を図った。	保健センター
子育て世帯における子育て支援の一環として、学校給食費の一部助成を行った。	助成件数	2,062件	1,974件	1,984件	1,912件	給食費の保護者負担の軽減を実施し、子どもたちの健やかな成長の後押しが出来た。	学校教育課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

施策② 仕事と子育ての両立

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
ワーク・ライフ・バランスに関するセミナー等の参加者数	311人/5か年	800人/4か年	0人/1か年	0人/1か年	0人/1か年	290人/1か年	36%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
子育て世代包括支援センター(利用者支援事業:基本型・母子保健型)を中核として、関係機関(九ちゃんクラブ・保育所・医療機関・保健所・児童相談所・教育委員会・療育事業所等)と連携し取り組んだ。	関係機関連携数	28	28	28	28	関係機関と連携し取り組むことができた。	こども未来課
子育ての悩みを解決または軽減するために、妊娠期である両親学級時に情報提供を行う等、すくすく子育てセンターの相談機能を充実した。	情報提供回数	7回	11回	24回	24回	保健センターで実施する両親学級において、妊婦の働き方と休息に関する情報提供を毎月2回実施した。	保健センター
熊本県が取り組む「よかボス宣言」(企業のトップが社員の仕事と結婚や子育て、介護などの充実した生活ができるように応援すること)に関して協力して普及を推進した。	登録企業数	8件	10件	15件	15件	県補助金の中に「よかボス宣言」を行っていることが要件となっているものもあり、随時周知を行ってきた。今後は市HPなどでの募集掲載(常時)を行い、広報誌などでも適宜広報を行っていく。今後も引き続き、「よかボス宣言」について、周知を行っていききたい。	商工観光課
ワーク・ライフバランスの向上に寄与する内容の研修会を実施すると同時に、県や団体主催の研修会について庁内に周知を図る。	セミナー等の参加者数	-	-	-	290人	職場内コミュニケーションを円滑にするための研修会を開催し、ライフプランセミナー等への参加を周知した。会計年度任用職員等の短期組合員も対象とすることで、働き方に関わらず情報を得る機会を均等に提供できた。	総務課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる

指標名	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
中心商店街の賑わい創出・満足度	7.30%	25%	-	-	3.95%	-	16%
農山村保全と快適な暮らし実現・満足度	8.50%	25%	-	-	5.70%	-	23%

施策① 魅力的な生活圏の形成

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
民間活力導入事業	0件/5か年	2件/4か年	0件/1か年	0件/1か年	0件/1か年	0件/1か年	0%
人吉版「リノベーションまちづくり」の取組により創出されたリノベーション物件数	0件	5件	1件	1件	1件	0件	60%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
公共施設、公的不動産などの既存ストックについて、PPP・PFI手法の導入により民間の知見・ノウハウを取り入れながら、有効活用を推進した。	民間活力導入事業数	0件	0件	0件	0件	PPP・PFIについての講座やセミナーを公共施設担当課によびかけ、受講を促し、知識を深める取組を行っている。同時に、ワーキンググループで公共施設等の活用や民間提案の仕組みについて検討、実践に向けて取り組んでいく。	行財政改革課
人吉市のまちづくりにおける球磨川との係わり方をふまえ、水辺の利活用計画、施設等の維持管理方法等について検討するために球磨川・人吉地区かわまちづくり協議会を設置した。	協議会開催数	0回	0回	2回	3回	令和2年7月豪雨をうけ、復興の取組みも踏まえた球磨川・ひとよし地区かわまちづくり計画の令和6年度の変更登録を目指し、協議会を開催した。	復興支援課
人吉・球磨地域公共交通活性化協議会において、地域間で連携した交通体系づくりを進めていくことで、利用者の利便性の維持・向上に努めた。	年間走行キロあたりバス利用者数	0.149人/km	0.146人/km	0.132人/km	0.155人/km	令和4年3月に策定した人吉・球磨地域公共交通計画に基づき、各種施策事業の実施に努めた。	交通政策課
ひとよし未来カフェを開催し、市の抱える課題について、市民と行政が対話をしながら協働する。	参加者数	0人	0人	672人	161人	前年度に開催できなかった西校区及び西瀬校区の復興まちづくり重点地区の13町内で開催した。	秘書課
中心市街地活性化事業(リノベーションまちづくり)により空き家、空き地、空き店舗などの遊休資産を有効活用することにより、中心市街地に新たな価値を育み、エリア価値向上を図る。	人吉版「リノベーションまちづくり」の取組により創出されたリノベーション物件数	1件	1件	1件	0件	空き地の利活用及びエリア価値向上のため、HITONOWAマーケットを継続的に開催した。リノベーション物件の設置(成果)にはつながらなかったが、令和6年度以降から「うぐいす温泉」の利活用について検討を進めていく予定である。	商工観光課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる

施策② 地域間連携による魅力的な地域圏の形成

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
合同イベントの開催に伴う集客数	23.9万人/5か年	40万人/4か年	0万人/1か年	1,100人/1か年	2,730人/1か年	3,500人/1か年	1.83%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
人吉球磨定住自立圏形成協定に基づき中心市と近隣市町村が相互に役割分担、連携・協力することにより、圏域全体で、医療・福祉・教育など生活機能の強化、交通・ICTインフラの整備や圏域内外の住民の交流、人材育成など人口定住に必要な生活機能の確保に取り組んだ。	KPI達成率	-	28%	34%	39%	新型コロナ感染症や令和2年7月豪雨の影響で、第2次人吉球磨定住自立圏共生ビジョンを実施することが困難な状況であった。	復興支援課
各事業体などと、綿密な相互連携と協働によって、地域の課題解決に向けた活動を行いながら市民サービスの向上を図るとともに、地域の活性化等を推進することを目的とした包括連携協定を締結する。	協定締結数	1件	6件	3件	3件	市から企業等に協力していただきたい事項や企業からの提案を協定締結企業と対話を重ねながら毎年更新していきます。	復興支援課 商工観光課
新型コロナウイルス感染症予防に配慮し、新しい生活様式を取り入れた集客イベントを人吉球磨観光地域づくり協議会により開催する。	合同イベントの開催に伴う集客数	0人	1,100人	2,730人	3,500人	2月上旬から3月上旬にかけて「人吉球磨の、ひなまつり」イベントを実施。各施設の飾りつけや、毎週日曜日にメインイベントを開催し、集客を図った。今年度は「三日月詣」を開催。PR、集客方法を再検討し、継続していきたい。	商工観光課

事業進捗報告(令和5年度分)

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる

施策③ 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
年間宿泊客数	198,050人	217,000人	66,623人	103,560人	127,050人	155,424人	72%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
明治時代から続く肥薩線の歴史や文化的価値、魅力を次世代に伝えるとともに新たな集客を狙った人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868の運営を行った。	入館者数	4,775人	22,807人	34,320人	34,506人	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、土日祝日は多くの利用があり賑わった。また、デッキ改修のため1月～3月の期間閉館していたが、入館者数は前年度並みとなり、今後は増加する見込み。 SL人吉が人吉に帰ってくることもあるので、関係団体と協力しながら、鉄道関連で盛り上がる企画を実施していく。	交通政策課
サテライトオフィスやコワーキングスペース等を整備するとともに、IT企業を始めとした企業等の誘致・創業支援(50社程度)を推進する。	創業支援数	5件	13件	6件	1件	コロナ禍において、コワーキングスペースを活用した働き方が定着されてきたが、コロナの5類移行により働き方が元に戻ってきており、同様の施設が全国各地に整備されてきたことから、優位性を示せず1件のみとなった。令和6年度には温泉施設も稼働することから、ワーケーションをきっかけとする関係人口を増やし企業誘致へつなげていく。	商工観光課
観光庁の観光地域づくり法人「登録DMO」への登録を見据えた、事務局を含む組織・実施体制の見直しを実施した。	年間宿泊客数	66,623人	103,560人	127,050人	155,424人	令和4年3月に承認された観光庁の「候補DMO」について、令和5年3月に「地域連携DMO」に登録された。引き続き国の支援を活用しながら人吉球磨地域のかじ取り役として、魅力向上・観光客誘致に取り組む。	商工観光課
日本の山間地特性を生かした先端林業機器等の実証フィールド並びに世界的な林業見本市を誘致するなどにより、若者が憧れる「スマート林業最先端都市」としてのショーケース化を目指した。	視察対応件数	0件	1件	0件	1件	人吉市におけるスマート林業について、くま中央森林組合が宮崎県議会の視察研修を受け入れた。	農林整備課
ひとよし温泉マラソン大会を開催し、スポーツツーリズムの推進を行っていく。	参加者数	0人	317人	事業休止	事業休止	令和4～5年度については、復興事業を推進する観点から大会中止を決定。大会を再開するにあたって、次のような課題がある。 ・参加者駐車場などの収容能力の確保 ・大会運営に係る人員、予算確保 ・大会コースの安全性確保	社会教育課
市内に所在する文化財について、保存活用に向けての助言・指導及び補助等の各種支援を行った。	年間補助事業数	事業6件 協議50件	事業18件 協議84件	事業23件 協議30件	事業16件 協議22件	令和2年7月豪雨災害の復旧が進み、事業・協議いずれも件数が徐々に減少している。しかし、残る案件は長期交渉を必要とするものが多く、1件当りの協議回数や内容が複雑化している。	文化課

事業進捗報告(令和5年度分)

横断的な目標 1 多様な人材の活躍を推進する

指標名	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
女性(25～44歳)の就業率	79.4%	85.7%	-	81.9%	-	-	95.6%
65～69歳の就業率	44.8%	50.5%	-	49.4%	-	-	97.8%

施策① 多様なひとびとが活躍する場づくり

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
多様な主体が活躍するための普及啓発	-	8回/4か年	0回/1か年	1回/1か年	1回/1か年	1回/1か年	38%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
地域の特性や地域資源を活かして、地域の課題解決を行い、新しい生活様式に対応した地域づくりを支援するため地域づくり夢チャレンジ推進補助金の活用を推進した。	申請件数	2件	5件	3件	8件	地域活性化や令和2年7月豪雨からの復旧・復興を目指し、自主的な地域づくりを後押しするための取組を支援した。	復興支援課
すべての住民が心豊かに暮らすために、お互いの人権を尊重し合い、差別のない人権共存社会の実現をめざし、人権教育・啓発活動を推進した。	多様な主体が活躍するための普及啓発	/	1回	1回	1回	コロナ、インフルエンザ等の影響により、人数制限を行っての講演会開催となったが、「人を大切にすることが人と暮らしを豊かにする。そのためには、色々な人について考えることが大切」など、参加者の人権意識の啓発・向上につながった。	社会教育課
市民活動団体や自治組織などで取り組む「まちづくり事業」の費用の一部を助成します。	助成件数		1件	2件	0件	1件	地域における住民主体の活動の支援を行うことで活力ある地域づくりを目指す。
市内全校区で公民館(コミセン)講座を開催した。(令和2年7月豪雨で被災した施設(校区)においても、当該校区内の自治公民館等で会場を確保し講座を開催した。)	参加者数	0人	20,422人	5,452人	6,103人	各校区独自の講座に加え、短期講座・自主講座等も実施し、多数の方に受講いただいた。西瀬コミセンについては、自治公民館等で会場を確保し講座を開催してきたが令和6年4月に西瀬コミセンが供用開始される。	社会教育課

事業進捗報告(令和5年度分)

横断的な目標 1 多様な人材の活躍を推進する

施策② 多文化共生の推進

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
多文化共生に関する研修会等の実施回数	—	8回／4か年	0回／1か年	2回／1か年	3回／1か年	3回／1か年	100%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
外国人による農業従事者への支援を検討した。	外国人従事者数	0件	0件	0件	0件	酪農を営む農家で外国人実習生を雇用している事例はあるが、従業員ではないため計上していない。外国人従事者であることに変わりはないため、どのような支援が可能なのか引き続き検討していく。	農業振興課
インバウンドの接客において食に関して気を付けるべきポイントを関係事業者間で理解するため、飲食店や宿泊・観光施設等を対象にセミナーを実施した。	東南アジアを中心としたイスラム圏からの観光等宿泊客	9人	6人	6人	3人	新型コロナウイルス感染症により宿泊者は少なかったが、今後は渡航制限も緩和されたこともあり、宿泊者の増加に期待できる。引き続き民間を中心にハラールをはじめヴィーガン等への対応を推進していく。	商工観光課
人吉市国際交流協会において、地域における国際交流団体等の連携を強め、民間レベルの国際交流活動の活性化を図った。	イベント数	0回	2回	3回	3回	参加者からは、今後も事業を継続してほしいなど、多文化共生に前向きなご意見をいただくことができた。 人吉市在住の外国人の実態は完全には把握できていないが、技能実習生を雇用している事業所等に協力をお願いすることと併せて、男女共に参加しやすい交流会等を企画する必要がある。	社会教育課

事業進捗報告(令和5年度分)

横断的な目標 2 新しい時代の流れを力にする

指標名	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
未来技術を活用し地域課題の解決・改善に向けて取組を行った事例	—	4件／4か年	0件／1か年	4件／1か年	2件／1か年	6件／1か年	300%

施策① Society 5.0の推進

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
未来技術を活かしたプロジェクトの実施件数	—	4件／4か年	0件／1か年	5件／1か年	2件／1か年	7件／1か年	350%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
リモート会議を行うために、Web会議システムやスピーカー等を導入した。また、新しい生活様式に対応するため、またペーパーレス化を実現するためにタブレットを活用した会議を検証していく。	Web会議システム利用件数	3件	755件	1,023件	831件	昨年度と比較し減少はしているものの一定数、リモート会議が実施された。今後は、ペーパーレス化の実現に向けて、改めて目的を周知すると共に、タブレット活用を促進していく。	情報政策課 行財政改革課
災害対応にシステムを導入し、効率的かつ効果的な災害対応を実現するために災害掲示板システム(G空間)、デジタルケア避難所システム、防災ポータルサイトの実証事業等に取り組んでいく。	実証実験実施回数	3件	10件	11件	11件	システムを導入することで、効率的・効果的な災害対応を図ることができた。デジタルケア避難所システムと防災ポータルサイトについては令和4年度から本格運用を開始した。引き続きシステム改良等に取り組む。	防災課
農林水産、サービス産業、教育、生活、医療、交通、公共・社会基盤といった様々な分野が抱える課題解決に未来技術を分野横断的に活用していくため人吉市スマートシティ構想を推進していく。	未来技術を活かしたプロジェクトの実施件数	0	5	2	7	R4年度に策定したスマートシティ推進計画に基づき、各種事業を実施。今後も重点取組分野を中心に先端的サービスの検討を行いつつ、実装したサービスを確実に普及し、効果的な活用を図る必要がある。	情報政策課
ドローンを活用して施業の効率化を行った。人手不足の解消や安全性の確保を目指す。	ドローン活用事業者数	1	1	1	2	施業確認等の有無及び資材運搬に利用できた。	農林整備課

事業進捗報告(令和5年度分)

横断的な目標 2 新しい時代の流れを力にする

施策② SDGsを踏まえた持続可能なまちづくり

重要業績評価指数(KPI)	基準値	目標値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成率
SDGsに関する普及・啓発研修会実施回数	1回	8回/4か年	0回/1か年	2回/1か年	0回/1か年	0回/1か年	25%

具体的な事業

取組内容	KPI	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	評価・課題	担当課
SDGsの理念に沿った取組を進めるために情報収集を行った。	SDGsに関する普及・啓発研修会実施回数	0回	1回	0回	0回	SDGsの考え方を踏まえ施策に取り組むことにより、持続可能な経済社会づくりを目指し、第6次人吉市総合計画(後期基本計画)にもSDGsの各目標と総合計画の各施策が対応するように標記した。	復興支援課
2050年に温室効果ガスの排出量又は二酸化炭素を実質ゼロにするためにゼロカーボンシティを目指す。	ごみ排出量	12,197t	11,820t	11,242t	11,108t	事業系ごみは減少傾向にあるが、生活系ごみが増加傾向にあり、その対策が喫緊の課題である。	環境課
ZEHや太陽光発電初期投資ゼロモデル住宅など、再生可能エネルギー住宅の導入を支援を検討した。	支援件数		89件	15件	5件	熊本県事業を市ホームページに掲載した周知を行った。	環境課
観光関係事業者と連携し、持続可能な観光地づくりに取り組む。	SDGsに関する普及・啓発研修会実施回数		1回	0回	0回	R5年度は研修会の実施はなかった。これまでに引き続き、レンタサイクルの充実など、地域の特色を活かしたニューツーリズム等を推進する。	商工観光課